

平成23年度 森プロ事業実績：たにぐみ山づくりプロジェクト

(平成24年3月末現在)

	H19～22年度		H23年度				5カ年	
	計画	実績	計画	実績	達成率	備考	計画	
集約化(ha)	595	266	0	2.3	—		595	
作業道(m)	6,260	4,580	1,550	299	19%	加速化・緊急管理路	7,810	
間伐等	面積(ha)	141	135	55	10	17%	利用+切捨	196
	材積(m3)	5,138	1,827	2,733	316	12%		7,871(11,449)
備考	団地外実績(利用間伐 22ha 搬出材積 2,020m3 作業路開設 2,397m)							

H23年度利用間伐等における所有者への還元額(補助金含む)(見込み)

1,900 円/m3

施業集約化の状況

- 境界立会→測量→施業提案→現地説明会を行い施業集約化を実施。
- 他地域の集約化計画作成に忙殺され、事業化は2.3haにとどまってしまった。
- H23.10月に施業集約課を新設(施業プランナー2名を専任化)し、集約化を推進。

施業プランの活用状況

- 施業提案に活用中。

施業プランナーの養成状況

- 施業プランナー1名育成 (県研修)

・7月にプランナー増員サポート事業を受け全職員参加により研修し、認識を高めた。



施業集約に向けた地元説明会の開催状況

作業道の状況

- ・基幹作業道から新規路線(森林作業路)を開設。搬出可能なエリアの拡大を図った。
- ・新規路線(森林作業路)については、地山勾配が緩いところでは、作業性を考慮して、広く開設し、作業ポイントとして利用した。
- ・車両系の作業システムを実施できる路網を配置。
- ・豪雨後に昨年の開設路線を調査し、崩壊が無いことを確認。



基幹道(W=3.6m)から支線として、利用間伐を見込み、森林管理路(W=3.0m)を開設。

作業システムの状況

・素材生産性

平成19年度 2.4m³ / 人日

平成20年度 3.0m³ / 人日

平成21年度 3.9m³ / 人日

平成22年度 3.8m³ / 人日

平成23年度 2.8m³ / 人日

→ AVE.3.2m² / 人日

・林産班2班体制に向けた取組みで、経験の少ない森林技術者が従事したこともあり、生産性は低くなった。
(・なお、経験豊富な森林技術者の林産班は、最大で5.3m³の生産性があった。)



その他

- ・中濃森林組合視察(2010/5/19)
- ・高性能林業機械実演・研修(2011/5~6)
- ・木材評価士講習(2010/9/1. 2)
- ・低コスト木材生産先進事業視察(2011.9/22、12/15)
- ・かかり木伐倒講習(2010/10/9)
- ・機械集材運転講習(2010/11/13. 14)
- ・伐木講習(2010/12/2)

森プロの成果

- ・育林型事業体から、育林・林産型事業体へ実践の場が出来た。
- ・地域を集中して集約化し、一体的な整備をする事が出来た。
- ・トラック道(基幹作業路)の開設により利用間伐対象森林が増加した。
- ・森プロを通じて、地域に期待感がわいてきた。山に対する興味もどった。
- ・組合の森プロに携わる職員の増員ができ、他地域への取組へ繋げる機運ができた。

今後の課題

- ①事業の効率的な推進と波及
 - ・集約化作業の効率化(集約化作業に手間が掛かる。)
 - 施業集約課を新設し、森林施業プランナー 2名を専任化。
 - ・いび森林資源活用センターとの棲み分け、役割分担の明確化
 - ・重点集約化地域(16箇所)を選定し、現地調査を実施しながら、縁故者や地域有力者の協力を得て、集約化を加速させる。
 - ・現有道路の拡幅の要望
- ②事業地・事業量の確保
 - ・利用間伐地の確保(高齢級林)
 - ・土質に応じた作業路の施工方法の確立
- ③森プロ事業地のこれまでの実績(H19~23)と今後の対応
 - <実績(計画)>
 - ・集約化 : 268ha (595ha)
 - ・作業道 : 4,879m (7,810m)
 - ・間伐の面積: 145ha (196ha) <利用間伐 45ha 切捨間伐 99ha>
 - <今後の対応>
 - ・平成22年度に開設した基幹作業道を利用し、森林管理路を有効に開設し、利用間伐の実施と素材生産量の増加を図る。
 - ・事業実施箇所が少なかった木曾屋西地区の北部・有鳥についても、引き続き所有者への説明等を実施し、集約し事業の推進
 - ・間伐に対して同意していただけない県外所有者に対し、引き続き電話等で説明を行い同意を得る
- ④いび森林資源活用センター協同組合との連携により林地残材の有効利用を推進